

2017 年

福岡自然農塾見学学習会のご案内

耕さず、草や虫を敵とせず、肥料農薬を必要としない……



この春で、福岡自然農塾の歩みは 26 年目に入りました。

その始まりは、ちょうどバブルがはじけ、またチェルノブイリ原発事故をきっかけに生命という言葉がキーワードとなって、人々が生きる方向を大きく問い直し始めた頃でした。

真の豊かさとは？ この地球という生命の舞台で永続可能な生き方とは？ 人のあるべきあり様とは？ 様々な問いは尽きなかったと思います。

以来、奈良の桜井の地より、川口由一さんをお招きしてのこの学習会の学びに来られる人も、のべ何千人に達したことでしょうか。

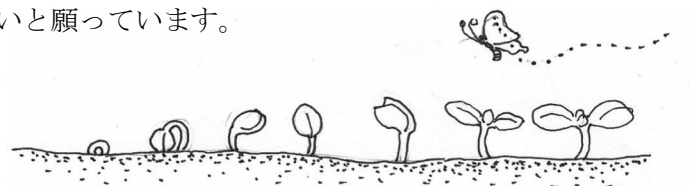
「耕さず、草や虫を敵とせず、肥料農薬を必要としない」この自然農はすべての生命の営みを永続可能とするものです。やりたいという思いさえあれば、小さな田畑から、どなたでもすぐ実践を始めることができます。

身の回りでおこる様々なできごとは悩ましく、一見解決不可能な難問もたくさんありますが、生命の世界は本来、シンプルです。

おこる現象にとらわれず、生命の世界を見つめ、生命の世界が本当はどういうところで、今、どうなっているのか、察知できれば、もはや答は明確なはずです。いたずらに我が生命を消耗することなく、その答となるところを生きたいと思います。まずは野に立ち、大いなる生命の世界と一体となって、本来の人としての営みを一つ一つ取り戻してゆけたらと思います。

幸いなことに、この国には四季があり、そこに身をおきさえすれば、季節ごとの彩りや喜びは、新たな気づきを伴って、限りないものです。ましてや私達の生命の糧ともなる、お米、お野菜を自ら手にできたなら…人の一生はわずか百年前後です。

自然農が耕さない大地に、生命の営みを重ねて、豊かになるように、私達人も、この生命の舞台に重なっていく多くの生命の一つとして、最善に全うしてゆきたいと願っています。



見学学習会の一日の流れ

9:00 集合・受付（松国学びの場）

午前中は松国学びの場の見学と畑の実習を行います。その後、一貴山へ移動して昼食をとっていただき、午後は、鏡山農園と一貴山学びの場の見学の後、田んぼの実習を行います。見学終了後は、鏡山宅にて、言葉を交わしながらの、交流学習会となります。毎回、季節に応じて、実習の内容が変わりますので、交流学習会の時間は変動しますが、参加者の皆さんの質問等に応じ、また、自然農の世界について、深いところから視野を広げてあらゆるテーマで話し合いたいと考えております。

17:00 終了

参加費： 1,000 円

持ってくるもの：軍手、帽子、長靴、あればノコ鎌、弁当（12月は不要）、水筒

2017年 ＊ 年間学習内容

月・日	学 習 内 容	
4 月 16 日 (日)	・春の仕事	○学びの場、実践地の見学 ○お米の苗床作りと種降ろしの仕方 ○春夏野菜の種降ろし数種 ※お米の種粃を希望の方にお分けします。
6 月 11 日 (日)	・田植えを 中心に	○学びの場、実践地の見学 ○夏野菜の手の貸し方、支柱の立て方など ○一貴山の田んぼで田植えの実習、畦塗や水の管理の仕方
8 月 6 日 (日)	・夏の仕事	○学びの場、実践地の見学 ○田の草への応じ方、田の夏の管理について ○果菜類（ナス、トマト、ピーマン、キュウリなど）の手の貸し方 ○秋冬野菜の種降ろし
10 月 22 日 (日)	・秋の仕事	○学びの場、実践地の見学 ○稲刈り、稲架かけづくり及び稲架かけの仕方 ○麦の種降ろし ○畑の野菜への応じ方と手の貸し方
12 月 3 日 (日)	・実りを 手にする	○お米の脱穀、唐箕、調整（粃摺り、精米） 昔からの道具を使い手作業で行います。 ○精米したお米を自然農の野菜で作ったお味噌汁と共に その場で炊いていただきます。 (弁当不要。各自、箸、おわん2つ持参)
2018 年 1 月 21 日 (日)	・特別企画 ※：場所未定	記録映像「自然農へ至る道—自然に沿って生きる—」 2004 年 NHK 番組「こころの時代」を観て 感想、意見交換などを行いながら、より深く自然農について 学びます。近まりましたらどうぞお問い合わせ下さい。
2018 年 2 月 18 日 (日)	・冬の仕事	○学びの場、実践地の見学 ○お米の苗床の準備（畑の作物の苗作りにも応用できます。） ○新たに畑の畝を立てる、低くなった畝を立て直す。 ○エンドウの種おろし等

＊毎回、種の交換コーナーを作りたいと思います。余分に採れた種を皆で持ち寄って分け合ひましょう。

《見学学習会についての問い合わせ先》

鏡山 TEL 092-325-0745・村山 TEL 090-7927-2726・木下 TEL 092-323-6606

●座学 「自然農から農を超えて」

自然農の世界は奥が深く、田畑での作物づくりだけに留まらないものです。私たちが生きることの全般にわたって、これから人としてどうあれば良いのか、教育、医療、芸術、政治、経済、宗教……どの分野においても、最善の答えを出し、その答えを生きなれば、本当のところで救われないでしょう。

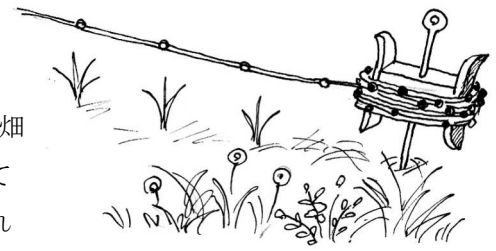
この座学では、川口さんの過去 30 数年のご講義のなかに、その答えを尋ねながら、深く学び合いたいと願っています。会場の都合で完全予約制です。

ご参加をお待ちしています。

2017 年の予定： 3/4(土)、5/6(土)、7/1(土)、9/2(土)、11/4(土)、2018 年 1/6(土)、3/3(土)

会場：鏡山自宅 AM10:00～PM5:00 弁当持参 参加費：500 円 **要予約 ☎ 092-325-0745**

福岡自然農塾の各学びの場と農園



福岡自然農塾（代表：鏡山 悦子）とは、松国、一貴山、加布里、花畑の4ヶ所の学びの場と農園を総称しての名称です。見学学習会においては、主に松国と一貴山がその対象となります。個々に農園等を見学されたい方は、必ず前もってご連絡ください。

松国自然農塾 ◆所在地 福岡県糸島市二丈松国 ◆代表 村山 直通[TEL 090-7927-2726]

約70組の方が年間を通して、自然農のお米づくりと野菜づくりを学んでいます。

田んぼが約2.2反、畑約3.5反、果樹1反で一人当たりの広さはそれほど広くはありませんが、週末や休日を利用して福岡市内や近郊より通って楽しく学んでいます。毎月1回（第2日曜日）に指導と共同作業を行っています。

周囲の斜面や山林もお借りして果樹やシイタケの栽培も含み、総合的な学びを心がけています。

いきさん 一貴山自然農塾 ◆所在地 福岡県糸島市二丈一貴山 ◆代表 鏡山英二[092-325-0745]

一貴山は松国から、少し山手に入った、空気と水のきれいな中山間地の棚田地帯です。2002年に学びの場が開かれ、鏡山家を中心にして現在10家族と2名が学んでいます。広さは田と畑を合わせて約7反ほどあります。

自然農に目覚めるのは、農地を持たない都市生活者が多いですが、具体的に農的暮らしを始めるとなると、一貴山のような中山間地の放棄された棚田がいろいろな視点から最適だと思います。平地にはない厳しさもありますが、生きるための総合力を身に付けられたらと思っています。今年は新しい試みとして、菜種の栽培を少しだけ始めています。どのくらいの油が搾れるのか楽しみです。

鏡山農園 ◆所在地 福岡県糸島市二丈一貴山 ◆代表 鏡山悦子[092-325-0745]

1992年より夫婦で自然農を学び始め、今年で26年目を迎えます。唐原と上の山での学びを経て、1996年より一貴山で自然農を営み始めました。1999年には家を建て、長年の夢であった農的暮らしが始まりました。現在は、田んぼ6畝、畑3反、果樹地1反を営んでいます。果物を加工したり、コンニャクや豆腐を作ったり、日々の暮らしに田畑の恵みを様々な利用する知恵は、昔は当然だったことを、今は一つ一つ学びながら自らに備え、次の世代にも伝えていくことが静かな喜びです。ニホンミツバチを飼い始めて5年目になります。感動がいっぱいです。

加布里自然農塾 ◆所在地 福岡県糸島市加布里 ◆代表 木下まり[092-323-6606]

田、約1.5反を3名でお米作りを学んでいます。こちらは海に近い平野に位置していて、周囲は慣行農法の田に囲まれています。そのことで、特に問題は生じておりませんが、海がすぐそばにあるため、潮風の問題や、潮位によって田の水量の調節が難しいことや、近隣の田と水を入れる時期の調整など、ここなりの工夫も要します。

木下農園 ◆所在地 福岡県糸島市加布里 ◆代表 木下恵里生[092-323-6606]

自然農に切り替えて今年で23年目になりました。糸島半島の海沿いの温暖な地域にあります。田んぼは約0.8反、畑は約0.5反ほどあります。書道塾を営む夫と保育士の仕事に就く妻、それに子ども2人の合計4人の食を、ほぼまかなっている自給のための農園です。

はなはな 花畑自然農塾 ◆所在地 福岡市南区花畑3丁目 ◆代表 村山直通[090-7927-2726]

都市の中の自然農学びの場です。現在20名が約1反の畑で学んでいます。

ここでは下記の日程で見学会を開催しています。

<花畑自然農塾見学会>2017年の予定

3/5(日)、5/7(日)、7/2(日)、9/3(日)、11/5(日)、2018年1/7(日)、3/4(日)

集合場所：福岡市南区花畑3丁目 花畑小学校正門付近 集合時間：午後1時30分 （参加費無料）

海あり山ありの 糸島の全体図

